

| No. | カテゴリ                                     | 説明  | 対処内容   |
|-----|--|---|--|
| 1   | 変数値設定<br>ノード                             | 変数値設定ノードのプロパティ画面で「設定値」欄にファイルをドラッグ&ドロップしてもファイルパスが設定されない。   | 変数値設定ノードのプロパティ画面で「設定値」欄にファイルをドラッグ&ドロップした際に、ファイルパスが設定されるよう修正しました。   |
| 2   | シナリオ実行                                   | 「部分実行」「ここから実行」「ステップ実行」の際に、実行ログからはどの実行方式であったかが区別できない。  | 実行方式に合わせて以下の通りログメッセージを修正しました。<br>※{0}はシナリオファイル名、{1}は経過時間が入ります。<br>◆全体実行(Ver.7.4.1までと同じです)<br>【実行開始】シナリオ「{0}」の実行を開始しました。<br>【実行終了】シナリオ「{0}」の実行を終了しました。経過時間：{1}<br>【実行停止】シナリオ「{0}」の実行を停止しました。経過時間：{1}<br>◆部分実行<br>【実行開始】シナリオ「{0}」の部分実行を開始しました。<br>【実行終了】シナリオ「{0}」の部分実行を終了しました。経過時間：{1}<br>【実行停止】シナリオ「{0}」の部分実行を停止しました。経過時間：{1}<br>◆ここから実行<br>【実行開始】シナリオ「{0}」のここから実行を開始しました。<br>【実行終了】シナリオ「{0}」のここから実行を終了しました。経過時間：{1}<br>【実行停止】シナリオ「{0}」のここから実行を停止しました。経過時間：{1}<br>◆ステップ実行<br>【実行開始】シナリオ「{0}」のステップ実行を開始しました。<br>【実行終了】シナリオ「{0}」のステップ実行を終了しました。経過時間：{1}<br>【実行停止】シナリオ「{0}」のステップ実行を停止しました。経過時間：{1} |
| 3   | GUI                                      | WinActorのウィンドウを最小化する際に「不測のエラーが発生しました。」と表示されることがある。  | WinActorのウィンドウを最小化する際の処理を見直し、エラーが発生しないように安定性を向上させました。  |
| 4   | UIオート<br>メーション                           | UIオートメーションノードの実行時に操作対象ウィンドウをアクティブにしてしまうことで、操作対象の動作を妨げてしまうことがある。   | UIオートメーションノードのプロパティ画面の詳細設定タブに「実行時に対象ウィンドウをアクティブにする」項目を追加し、実行時のアクティブ化有無を設定できるよう修正しました。<br>詳細は同梱の操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual.pdf)の「4.9.1 UIオートメーション ■UIオートメーションのプロパティ 表4-103 No.7」をご参照ください。  |
| 5   | クリップ<br>ボード                              | クリップボードノードでクリップボードへ値を設定し、直後にエミュレーションノードでCtrl+Vキーでペーストしようとする、ペースト操作が実施されないことがある。   | クリップボードノードでクリップボードへ値を設定し、直後にエミュレーションノードでCtrl+Vキーでペーストした際に、ペースト操作が実施されるように安定性を向上させました。  |
| 6   | 画像マッチ<br>ング/輪郭<br>マッチング<br>/OCRマッ<br>チング | 画像マッチングノードのプロパティ画面にて、イメージ画像に246文字以上のウィンドウタイトルを持つウィンドウを指定してプロパティを更新する操作を4回繰り返すと、画像マッチングノードのプロパティ画面を開く際に不測のエラーが発生するようになる。<br>Ver.7.4.1で新規に作成したシナリオでは本問題が発生しなくなったが、Ver.7.4.0以前に作成したシナリオはVer.7.4.1で開いても同様にエラーが発生する。 | Ver.7.4.0以前に作成したシナリオに含まれる画像マッチングノードのプロパティ画面を開く際に不測のエラーが発生しなくなるよう修正しました。  |
| 7   | シナリオイ<br>ンポート                            | シナリオインポートする際、インポートするシナリオファイル内にイメージ名があり、かつ、対応する画像ファイルが存在しない場合に不測のエラーが発生する。   | シナリオファイル内にイメージ名があり、かつ、対応する画像ファイルが存在しない場合、当該シナリオのインポート時にエラーとならないよう修正しました。<br>また、同様のシナリオから別のシナリオにノードコピーした場合、及び、イメージ管理アイコンからイメージ画面を表示した場合にも同様に不測のエラーとなる問題がありましたので合わせて修正しています。   |
| 8   | イメージ管<br>理                               | フローチャート上部のイメージ管理アイコンからイメージ一覧画面を表示した際、長い名前のイメージが存在すると名前の長さに合わせて画面幅がどこまでも広がってしまう。<br>また、イメージ一覧画面から個別のイメージ画面を表示した際、長いイメージ名を表示しきれずに画面レイアウトが崩れてしまう。  | イメージ一覧画面、及び、イメージ一覧画面から表示するイメージ画面では長いイメージ名を短縮して表示するよう修正しました。<br>イメージ名が64文字を超える場合、「<先頭から56文字>+"..."+<末尾から8文字>」の形式で表示します。   |

|    |             |   |   |
|----|-------------|---|---|
| 9  | エミュレーション    | エミュレーションでマウス操作を記録した際、記録時とシナリオ実行時でディスプレイ拡大率を変更していた場合(※)、記録時と異なる位置でマウス操作が実行されてしまうことがある。<br>同様に、ディスプレイ拡大率を変更していた場合、エミュレーションノードのプロパティ画面で座標確認アイコンをクリックした際に表示される座標確認画面で、実際の位置とは異なるクリック位置が示されることがある。<br>(※)Windows 10の場合、設定画面から[システム]-[ディスプレイ]を選択後、「拡大縮小とレイアウト」からサイズを「100% (推奨)」以外に変更する操作です。 | エミュレーションでマウス操作を記録した際、ディスプレイ拡大率の情報も合わせて記録できるよう修正しました。<br>これにより、記録時とシナリオ実行時でディスプレイ拡大率を変更していた場合にも、記録時と同じ位置でマウス操作が実行できます。<br>Ver.7.4.1以前のWinActorで作成済みのシナリオにはディスプレイ拡大率の情報が記録されていないので、記録時とシナリオ実行時のディスプレイ拡大率が変わる環境では改めてVer.7.4.2で操作を記録してください。 |
| 10 | ブラウザ拡張機能    | Firefoxをブラウザ拡張機能で操作する際、「ブラウザとの通信に失敗しました」と表示されてシナリオ実行に失敗してしまうことがある。  | Firefoxをブラウザ拡張機能で操作する際にエラーとならないよう、ブラウザ拡張機能の処理の安定性を向上させました。  |
| 11 | 起動ショートカット作成 | [ツール]メニューの[起動ショートカット作成]より、ショートカット作成を行う際に不測のエラーとなることがある。   | [ツール]メニューの[起動ショートカット作成]より、ショートカット作成に失敗した場合にエラーをダイアログで表示し、不測のエラーとならないようにしました。  |
| 12 | ログ出力        | 「23_ブラウザ関連」のライブラリ等でタイムアウト(ミリ秒)の設定誤り時に出力する以下のログメッセージが、MS932のエンコーディングでは一部文字化けしてしまう。<br>「タイムアウトは、100~3,600,000の範囲で指定してください。」   | 「23_ブラウザ関連」のライブラリ等でタイムアウト(ミリ秒)の設定誤り時に出力するログメッセージの中で用いる記号を波ダッシュ(U+301C)から全角チルダ(U+FF5E)に修正し、MS932のエンコーディングでも文字化けしないようにしました。   |
| 13 | シナリオ保存      | ようこそ画面を表示した状態で未保存シナリオ(※)の保存確認ダイアログで「はい」を選択すると不測のエラーが発生する。<br>(※)シナリオを新規作成し「新しいシナリオ.ums7」と表示されている状態です。一度でも名前を付けて保存している場合は正常に保存されます。  | ようこそ画面を表示した状態で未保存シナリオの保存確認ダイアログで「はい」を選択した際に、正常に保存処理が実施できるよう修正しました。<br>Storyboardでホーム画面を表示した状態で未保存シナリオの保存確認ダイアログで「はい」を選択した場合にも同様の問題がありましたので、合わせて修正しています。   |
| 14 | ブラウザ拡張機能    | ブラウザ拡張機能でブラウザ操作するシナリオの実行を続けていると、正常にページを読み込めている場合にも「指定URLのページ表示がタイムアウトしました。」のエラーが発生することがある。  | ブラウザ拡張機能でブラウザ操作するシナリオの実行を続けている場合に意図しないタイムアウトエラーが発生しないよう修正しました。  |
| 15 | ログ出力        | ネットワーク上のファイルを実行ログの出力先に指定した場合、WinActor実行中に不測のエラーとなることがある。  | ネットワーク上のファイルを実行ログの出力先に指定した場合にも、WinActor実行中に不測のエラーとならないよう修正しました。   |
| 16 | ブラウザ拡張機能    | ブラウザ拡張機能で「リスト選択」、「マルチリスト選択」、「マルチリスト選択解除」を実行する際、「指定する値の種類」に"value"、"visibleText"を設定していると、リストに存在しない値を指定してもエラーが発生しない。  | ブラウザ拡張機能で「リスト選択」、「マルチリスト選択」、「マルチリスト選択解除」を実行する際、「指定する値の種類」の設定値に関わらず、リストに存在しない値を指定するとエラーが発生するよう修正しました。  |
| 17 | ログ出力        | ログ出力タブ画面で、新規作成後保存しないまま閉じたシナリオファイルの実行ログをダブルクリックした際、別のシナリオを新規作成していると不測のエラーが発生する。  | ログ出力タブ画面で、新規作成後保存しないまま閉じたシナリオファイルの実行ログをダブルクリックした際、別のシナリオを新規作成していても不測のエラーとならないよう修正しました。  |
| 18 | ライブラリ       | 「04_自動記録アクション」配下のIE操作ライブラリのプロパティ画面にて、EdgeのIEモードタブをウィンドウを選択後、IEモードでないタブに切り替えてから対象コントロール指定を行うと不測のエラーが発生する。  | 「04_自動記録アクション」配下のIE操作ライブラリのプロパティ画面にて、EdgeのIEモードタブをウィンドウを選択後、IEモードでないタブに切り替えてから対象コントロール指定を行っても不測のエラーとならないよう修正しました。   |
| 19 | ライブラリ       | ライブラリの「04_自動記録アクション」配下のIE操作ライブラリのプロパティ画面にて、特定のWebページで対象コントロール指定を実施するとWinActorが強制終了してしまう。<br>Ver.7.2.1までのWinActorで同様の操作を実施した際は強制終了せずに通常どおり指定できる。   | ライブラリの「04_自動記録アクション」配下のIE操作ライブラリのプロパティ画面にて、特定のWebページで対象コントロール指定を実施する際、Ver.7.2.1までと同様、正常に指定できるよう修正しました。  |
| 20 | シナリオ保存      | 未保存のシナリオファイルがある状態でWinActorを終了させると不測のエラーとなることがある。  | 未保存のシナリオファイルがある状態でWinActorを終了させても不測のエラーとならないよう修正しました。   |

|    |             |  |  |
|----|-------------|--|--|
| 21 | 自動記録        | Google ChromeまたはEdgeを対象にした自動記録中に「値の取得・設定」ボタンをクリックした時に、選択されているウィンドウにより不測のエラーとなることがある。   | Google ChromeまたはEdgeを対象にした自動記録中に「値の取得・設定」ボタンをクリックした時に、不測のエラーとならないよう修正しました。   |
| 22 | ライブラリ       | 「23_ブラウザ関連¥ファイル選択」ライブラリでファイル名に「+」や「%」を含むパスを指定すると、ファイルが見つけれずシナリオ実行に失敗する。  | 「23_ブラウザ関連¥ファイル選択」ライブラリでファイル名に「+」や「%」を含むパスを指定しても、正しくファイルを見つけられるよう修正しました。   |
| 23 | ブラウザ操作      | Edge Ver.106以降にて、EdgeのIEモードのタブを対象にシナリオ実行する際、目的のタブを探索できずにエラーとなることがある。   | Edge Ver.106以降にて、EdgeのIEモードのタブを対象にシナリオ実行する際、目的のタブを正しく探索できるよう修正しました。  |
| 24 | GUI         | グループノード等の閉じることのできるノードを入れ子状態で配置した場合、外側にあるノードのみ閉じた上でフローチャート上で左ボタンドラッグして範囲選択すると閉じたノード内にある見えないノードが選択できてしまう。  | フローチャート上で左ボタンドラッグによる範囲選択を行った際に、閉じたノード内にある見えないノードが選択されないよう修正しました。   |
| 25 | 設定インポート     | ツールメニューから設定インポートを実施する際、インポートした設定ファイルに含まれるオプション画面のスクリーンセーバータブの設定内容が反映されないことがある。   | ツールメニューから設定インポートを実施する際、インポートした設定ファイルに含まれるオプション画面のスクリーンセーバータブの設定内容が正しく反映されるよう修正しました。  |
| 26 | オプション画面     | Ver.7.4.0からVer.7.4.1にバージョンアップすると、オプション画面のその他タブの「古い作業ファイルの削除」の設定値が初期値である「確認後に削除する」に戻ってしまう。  | オプション画面のその他タブの「古い作業ファイルの削除」の設定値を正しく保存できるよう修正しました。<br>以後のバージョンアップの際に設定値が引き継がれるようになります。<br>Ver.7.4.0及びVer.7.4.1で保存していた設定値は正しく引き継げないため、Ver.7.4.2にバージョンアップする際、「古い作業ファイルの削除」項目の設定値が初期化され「確認後に削除する」となります。<br>恐れ入りますが、Ver.7.4.2へバージョンアップ後必要に応じて当該項目の再設定をお願いいたします。 |
| 27 | オンラインアップデート | WinActor画面右下のアイコンから更新を確認した際、「全ての言語の通知を表示する」がチェックされていないと同梱ライブラリの更新情報が表示されない。  | WinActor画面右下のアイコンから更新を確認した際、「全ての言語の通知を表示する」がチェックされていない場合でもWinActorの言語設定に応じた同梱ライブラリの更新情報が表示されるよう修正しました。   |
| 28 | ライブラリ       | 「04_自動記録アクション」配下のWIN32系ライブラリで、操作対象の要素が非活性/非表示状態の場合、プロパティ画面でタイムアウト設定を実施していてもすぐにエラーとなってしまいます。  | 「04_自動記録アクション」配下のWIN32系ライブラリで、操作対象の要素が非活性/非表示状態の場合、プロパティ画面で入力したタイムアウト設定が有効となるよう修正しました。   |
| 29 | WSS         | WSS出力可能シナリオにおいて、エミュレーションノードのマウスアクションの座標が負になる(例えば対象ウィンドウを左にドラッグする)場合、このシナリオを保存して読み込むと「WSS Syntax Error, unexpected Token -, Expected:)」と「Emulation Win32 Mouse Action, number of tuple must be 8, but 3」のエラーとなってロードに失敗する。 | WSS出力可能シナリオにおいて、エミュレーションノードのマウスアクションの座標が負になる場合に、このシナリオを保存して読み込む際にエラーとならないよう修正しました。   |
| 30 | 条件式設定画面     | 分岐ノード等の条件式設定画面にて、特定の文字列を指定した場合、設定した正規表現に誤りがあるとプロパティ画面の更新ボタンをクリックした際に不測のエラーが発生する。   | 分岐ノード等の条件式設定画面にて、特定の文字列を指定した場合、設定した正規表現に誤りがあっても不測のエラーとならないよう修正しました。  |
| 31 | ライブラリ       | 「23_ブラウザ関連¥ブラウザ名を付ける」ライブラリにてウィンドウ識別名で操作対象を指定できるが、ウィンドウ識別ルール画面でルールを編集しても編集した内容が反映されていない。  | 「23_ブラウザ関連¥ブラウザ名を付ける」ライブラリにてウィンドウ識別名で操作対象を指定する場合、ウィンドウ識別ルール画面で編集した内容が反映されるよう修正しました。  |

|    |       |   |   |
|----|-------|---|---|
| 32 | ライブラリ | 「23_ブラウザ関連」配下のライブラリのプロパティ画面でXPath選択する際、「ブラウザ」ボタンをクリックしてブラウザを起動したにも関わらず、「選択」ボタンをクリックすると「ブラウザが起動していません。ブラウザ起動ボタンを押下してブラウザを起動し、対象となるURLを表示してください。」のメッセージが表示されることがある。 | 「23_ブラウザ関連」配下のライブラリのプロパティ画面でXPath選択する際、「選択」ボタンをクリックした時に起動しているブラウザを正しく認識できるよう修正しました。 |
|----|-------|---|---|